

別府大学

国語国文学

第 15 号

作品・作家

有明における詩様式の展開

「羅生門」論 (上)

— その虚構的在り様の意

味と位相を巡って—

米田 貞一

1

福本 彰

14

三浦梅園の研究

— 条理と反観合一—

高橋 正和

27

俳人・俳論

去来抄・三冊子
より考察した 蕉門の教法形態

虚子の俳論

— 『俳句に志す人の為に』
を中心にして—

梅木 幸吉

54

倉田 紘文

69

国民的抒情詩

俳句とその系譜

グウィルヘルム・
グンダート
加藤一英訳

79

国語・教育

国語随想・二題

川島つゆ著作目録 2

— 敗戦後から終焉時まで—

藤沢 一雄

86

古庄ゆき子

95

別府大学国語国文学会